

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会  
2018年度第1回常任幹事会議事要録

日時：2018年4月20日（金） 14時～15時40分

場所：愛知大学 名古屋校舎 本館会議室 M2001

出席：愛知大学（西野基継、中村直美、島田美津穂、黒川智広）  
名古屋学院大学（中田晴美）、日本福祉大学（佐藤雅信、石川宗臣）  
南山大学（稲垣智成）、同朋大学・名古屋造形大学（前田利明）  
名城大学（森康介）、愛知工業大学（加藤直美）  
愛知学院大学（大平龍玄、藤岡聖子）、中部大学（蓑島智子）  
名古屋女子大学（尾崎友子）

敬称略

議事に先立ち、理事校愛知大学図書館長（西野）の挨拶があった。議事進行は議長として選出された愛知大学図書館長（西野）が担当し、下記の議題を協議した。

〈1〉2018年度東海地区協議会総会について

I. 総会議事次第

理事校（島田）より2018年度第1回常任幹事会議事次第に基づき、総会議事進行、内容等について説明があった。引き続き、2018年度東海地区協議会総会の開催について資料(p.1)に基づき報告があった。

II. 報告事項

1. 2017年度東海地区協議会事業報告

理事校（中村）より、資料(p.2～4)に基づき報告があった。

2. 2017年度東海地区協議会研究会事業報告

研究会運営委員長校（石川）より資料(p.5～8)に基づき報告があった。

3. 2017年度協会会務報告

(1) 協会関係事項報告

1) 加盟校等及び協会役員校、委員会及び協会関連団体委員

理事校（中村）より資料(p.9～12)に基づき報告があった。

2) 2017年度委員会報告

①協会賞審査委員会報告

協会賞審査委員校（加藤）より資料(p.13)に基づき報告があった。

②研究助成委員会報告

研究助成委員校（森）より資料(p. 13～14)に基づき報告があった。

③国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員校（稲垣）より資料(p. 14～19)に基づき報告があった。

④協会ホームページ委員会

理事校（中村）より資料(p. 19～20)に基づき報告があった。

3) 私立大学図書館協会 2018 年度西地区部会総会及び研究会について

研究会主幹事校（稲垣）より資料(p. 21)に基づき西地区部会総会の案内があった。今回は「南山大学人類学博物館のコンセプト（仮題）」を実施する旨報告があった。引き続き理事校（中村）より資料(p. 22)に基づき西地区部会研究会の案内があった。

4) 第 79 回（2018 年度）私立大学図書館協会総会・研究大会について

理事校（中村）より資料(p. 23)に基づき案内があった。

(2) 協会関連事項報告

理事校（中村）より資料(p. 24)に基づき報告があった。

4. その他

理事校（中村）より資料(p. 25)に基づき、東海地区大学図書館協議会研修会についての実施報告があった。

Ⅲ. 審議事項

1. 2017 年度東海地区協議会決算（案）および監査報告

理事校（中村）より資料(p. 26、28)に基づき決算（案）について説明があった。研究会運営委員長校（石川）より資料(p. 29)に基づき研究会決算（案）について説明があった。2018 年度監事校（中田）より決算（案）について、本日 4 月 20 日に会計監査を行い、証憑書類等含め適正であると認められたとの報告(p. 27)があり、決算（案）を承認した。

2. 2018 年度東海地区協議会役員校および委員校について（案）

理事校（島田）より資料(p. 30)に基づき説明があり、承認した。

3. 2018 年度東海地区協議会事業計画（案）

理事校（島田）より資料(p. 31)に基づき説明があり、承認した。

4. 2018 年度東海地区協議会予算（案）

理事校（島田）より資料(p. 32)に基づき説明があり、承認した。

5. 2018 年度東海地区協議会研究会事業計画（案）ならびに予算（案）  
研究会運営委員長校（石川）より資料(p. 33～34)に基づき、説明があり、承認した。
6. 2018 年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会役員校・当番校等（案）  
理事校（島田）より資料(p35～37)に基づき説明があり、承認した。
7. 図書館管理・運営実務責任者会議開催の休止について  
理事校（中村）より口頭にて説明があり、休止について承認した。
8. 東海地区協議会 60 周年記念事業の実施（案）について  
理事校（中村）より資料(p38～39)に基づき説明があり、承認した。
9. その他  
『館灯』の在り方に関する意向調査結果について  
理事校（中村）より資料(p40～41)に基づき意向調査結果について説明があった。  
『館灯』の在り方について、①研究誌は冊子体として存続させる、②活動記録は HP にて報告する、など種々意見があった。本日は各図書館の意見紹介にとどめ、2018 年度東海地区協議会総会の[報告事項]（4. その他）で「在り方」に関する意見を紹介し、2019 年度以降に『館灯』をどのようにするか議論することとした。日程として 2019 年 3 月の常任幹事会で方向性を提案し、また、発行に伴う予算・業務内容についても検討することとした。

以上